

# 金山神楽保存会

起源や金山地区における神楽の源流は定かでなく、江戸時代の享保年間にさかのぼるが、昭和17年(1942)までの詳細な事項は不明。昭和17年から昭和24年にかけて中断するが、再度活動を開始する。昭和42年にまたもや中断するが、平成2年(1990)に現保存会を結成し現在に至る。

西村久雄氏著「神楽宝鑑」によると、昭和24年(1949)金山神楽復興の機に古老を招いて伝統の妙技を習得し、地域住民の協力により、面・衣装を取り揃え活動を続けている。

